

京都大学大学院

教育学研究科紀要

第51号

- 利害葛藤のない場面において互酬性の期待が順社会的行動に及ぼす影響
英国における才能教育の動向
映画『野いちご』にみる人生物語（ライフストーリー）
演技計画の段階における演劇俳優の熟達化と3つの視点の役割
幼児の自己主張行動の実験的検討
既知顔と未知顔の特性ならびに既知化過程の研究手法の概観
親と学校のパートナーシップについての考察
韓国における才能教育制度の理念と構造
中国における大学入試改革の動向
イメージにおける主語性と述語性
TAT（Thematic Apperception Test）に表されるプロットについて
精神分析学における既視体験再考
摂食障害者の内的世界
描画解釈における「空間構成」の意義と課題
TAT課題における自己体験と「自意識」
あいづちの心的効果について
思春期・青年期における身近な同性同年輩関係
老年期の死の意味づけを巡る研究知見と課題
G.ウィギンズのカリキュラム論における「真正の評価」論と「逆向き設計」論の連関
イギリスにおけるホール・スクール・アプローチに関する一考察
1920年代における性教育論の目的規定について
アメリカの思考教授研究における教育目標論の展開
オーストリアの郷土科および事実教授カリキュラムにおける「図面と地図」単元の歴史的変遷
垣内松三における国語学力論
〈林間学校〉の誕生
子どもの心的理解の発達を支えるものとは
「三項関係情動」の生起メカニズムを探る

京都大学大学院 教育学研究科紀要 第51号

目 次

論 文：

- 利害葛藤のない場面において互酬性の期待が順社会的行動に及ぼす影響…子安増生・森本裕子・林 創 1
—繰り返し二者間囚人のジレンマゲームを用いて—
- 英国における才能教育の動向 ……………杉 本 均 18
—レディング・スクールの事例より—
- 映画『野いちご』にみる人生物語（ライフストーリー）……………やまだ ようこ 33
- 演技計画の段階における ……………安 藤 花 恵 60
演劇俳優の熟達化と3つの視点の役割
- 幼児の自己主張行動の実験的検討 ……………鈴木 亜由美 74
—仮想課題と実験的観察を用いた2状況の比較—
- 既知顔と未知顔の特性ならびに既知化過程の研究手法の概観 ……………平 岡 斉 士 86
- 親と学校のパートナーシップについての考察 ……………古 田 薫 100
—親の学校参加の今日的意義と課題—
- 韓国における才能教育制度の理念と構造 ……………石 川 裕 之 114
—「英才教育振興法」以後を中心に—
- 中国における大学入試改革の動向 ……………楠 山 研 128
—地方・大学への権限委譲に関する一考察—
- イメージにおける主語性と述語性 ……………村 林 真 夢 142
- TAT（Thematic Apperception Test）に表されるプロットについて ……………海 本 理恵子 153
—ナラティブの観点から—
- 精神分析学における既視体験再考 ……………川 部 哲 也 167
- 摂食障害者の内的世界 ……………藤 本 麻起子 181
—TAT図版19における「守り」という観点から—
- 描画解釈における「空間構成」の意義と課題 ……………古 野 裕 子 193
- TAT課題における自己体験と「自意識」……………高 橋 悟 204
- あいづちの心的効果について ……………稲 井 文 218

思春期・青年期における身近な同性同年輩関係 ……………	須藤春佳	232
—関係イメージと同一性との関連より—		
老年期の死の意味づけを巡る研究知見と課題 ……………	川島大輔	247
G.ウィギンズのカリキュラム論における ……………	遠藤貴広	262
「真正の評価」論と「逆向き設計」論の連関		
—「スタンダード」概念に注目して—		
イギリスにおけるホール・スクール・アプローチに関する一考察 ……	窪田知子	275
—特別な教育的ニーズ・コーディネーターの役割と課題を中心に—		
1920年代における性教育論の目的規定について ……………	柴本枝美	290
—山本宣治の性教育論を中心に—		
アメリカの思考教授研究における教育目標論の展開 ……………	石井英真	302
—R. J. マルザーノの「学習の次元」の検討を中心に—		
オーストリアの郷土科および事実教授カリキュラムにおける ……………	伊藤実歩子	316
「図面と地図」単元の歴史の変遷		
—戦間期オーストリアの学校改革からの伝統—		
垣内松三における国語学力論 ……………	樋口太郎	330
〈林間学校〉の誕生 ……………	渡辺貴裕	343
—衛生的意義から教育的意義へ—		
子どもの心的理解の発達を支えるものとは ……………	篠原郁子	357
—養育者の感性及びmind-mindednessの役割—		
「三項関係情動」の生起メカニズムを探る ……………	山本（西隅）良子	371
—共感的喜び・妬みの状況要因について—		

平成16年度修士論文

氏名	論文題目
金瀬礼華	「居場所づくり」のエスノグラフィー ——京都市南青少年活動センターの事例を手がかりに——
北村公大	算数・数学教育における思考力の育成について ——駒林邦男の所論を中心に——
清水佐知	公立中学校の教師を取り巻く環境の再構築 ——わが国におけるTeacher-Centered Reformの可能性——
志波泰子	3歳児の他者の信念および意図の理解についての考察
田中優子	批判的思考の使用に及ぼす目標と文脈の効果
徳永俊太	イタリアの1985年学習プログラムにおける歴史科の特徴
中尾敦子	成人女性の学習をめぐる実態と課題 ——地方自治体における「女性問題学習」受講者の追跡調査を中心に——
宮崎朗子	成人を「教える」実践における動機づけの意味と方法 ——英語教育の事例をもとに——
木村正則	日系ブラジル人学校における児童・生徒の使用言語とアイデンティティについての考察 ——滋賀県S学園を事例として——
相川崇	起業家精神の学校化 ——小中学校における起業家教育の分析と展望——
李基原	丁若鏞の徂徠学的空間 ——『論語古今注』の徂徠学経説引用をめぐって
家島明彦	青年の理想自己像に影響を与えた人物モデル ——大学生が語るマンガ・アニメの影響——
石井佑可子	社会的適応における「メタ・ソーシャルスキル」の役割 ——スキルを操るスキル——
石原香織	デイヴィッド・バックinghamのメディア教育論について
王霞	大学評価における大学の自律性と説明責任 ——京都大学の大学評価の実情を通して——
小川絢子	幼児期における対象の再構成と描画の発達 ——子どもは2つの異なる見えをどのように統合するのか——
巖賢娥	北朝鮮の中等教育課程における歴史教科書の変遷に関する内容分析
河崎美保	算数の一斉授業における他者問発話聞き取りの学習促進機能 ——異なる解法発表がもたらす効果——
黒田真由美	小学校の英語の授業における教師と子どものコミュニケーションの変容
小林伸行	〈能力〉の選抜的「再算出」機能に統合される教育システム ——N. ルーマンによる教育システム論の生涯教育学的拡張に関する一考察——
Violeta Misaki Takano	ブラジル日系移民の教育史 ——二国の狭間で生きる二世——

平成16年度修士論文

- | | |
|---------|---|
| 高橋 洋一 | インフォームド・コンセントにおける「説明／説得」という二項図式の批判的検討
——生命をめぐる倫理と教育の新たな問題系 |
| 田 世 民 | 近世における『文公家礼』に関する実践的言説 —— 崎門派の場合 —— |
| 八 田 幸 恵 | ジョン・グッドラッドの教師教育改革論 —— 「人間中心の教育」と教師教育 —— |
| 毛利 真 介 | 発話に伴う身ぶりが発話理解に及ぼす影響：空間配置の伝達課題を用いて |
| 安 川 由貴子 | 生涯学習における認識論的研究
——G. ベイトソンのコミュニケーション論を機軸として—— |
| 山 本 和 行 | 伊沢修二における「国家」と教育 —— 日本統治初期台湾の教育事業をめぐる —— |
| 山 本 朋 佳 | 教育の資源調達におけるCSR・SRIの可能性 —— イギリスを事例として —— |
| 石 井 素 子 | 日本におけるJ.P.・サルトルの受容 —— 知識社会学的考察 —— |
| 野 村 光 江 | 発話内容の感情価が視線行動に及ぼす効果 |
| 古 川 雄 嗣 | 現代キリスト教神学における絶対性と相対性 —— 宗教多元主義をめぐる一考察 —— |
| 李 銘 忠 | 1920年代台湾における師範学校紛擾事件 |
| 山 崎 泰 寛 | 「子ども部屋」の漂流 —— 雑誌、産業、語りの中で |
| 浅 田 剛 正 | イメージに「添えない」こと
——風景イメージの表現とその模倣をめぐる二者関係の検討—— |
| 井 谷 信 彦 | M. ハイデガー『存在と時間』におけるパトスの消息
——存在論的な思索における気分の方法的な意義—— |
| 北 岡 征 毅 | 面接空間の経験を記述するという事 —— ある事例研究のこころみ —— |
| 清 水 亜紀子 | 自我体験についての一考察
——体験の語りとロールシャッハ・テストとの関連を手がかりに—— |
| 謝 玲 糸 | 自己開示における内的体験について |
| 田 中 史 子 | 子どもの心に生まれる物語に関する一研究 |
| 野 口 寿 一 | 解離的な関わり方について —— TATの変法を用いて |
| 原 田 徹 | 表現体験における「ぴったり感」の調査的研究
——砂のみによる交互箱庭制作を通して—— |
| 原 田 宗 忠 | 青年期における、自己評価のゆれと自己概念との関係 |
| 矢 納 あかね | 枠付け二枚法の中で起こること
——摂食障害を持つ方々の、バウムテストにおける枠付け二枚法・自分枠体験をもとに—— |
| 阿 部 歩 未 | 心理臨床におけるセラピストの変容過程に関する一考察 |
| 井 上 嘉 孝 | 心理臨床におけるクライアントとセラピストの「テーマの重なり」について |
| 丘 山 菜穂子 | 大学生と「家」との関係 —— 帰省体験の語りと統合型HTP法を通して —— |
| 小 林 宣 洋 | 学校現場における教育言説の両義性 |
| 森 石 泰 生 | 学校教育における個性について |

(合計48名)

平成16年度卒業論文

氏 名	論 文 題 目
吉 岡 圭 祐	生命尊重の心を育てる生き物飼育
坂 倉 良 一	国会論議にみる児童虐待
出 田 明 子	家庭内における子供の「居場所」 ——その変化と役割についての考察——
齋 藤 綾 華	わたしの中の秘密とその告白 ——夏目漱石著『こゝろ』をとおして——
佐々木 萌 子	〈教える者〉－〈学ぶ者〉の生成 ——親鸞の思想から見えてくるもの
佐 治 さやか	心が動かされる瞬間の考察
佐 藤 秀 寿	嫉妬心への対処について
須 賀 みな子	「個体と変化」 ——ベルクソン『創造的進化』を手がかりに——
鈴 木 真理子	食べる身体の間人学的考察
曾 根 大 輔	地域の祭りと子どもの育ち ——「だんじり」を中心に——
博 田 未由紀	芸術の場の同一性について ——世阿弥の「無心」を手がかりに——
星 野 友 里	選択の瞬間についての考察
前 田 恵理子	子育てを支援する地域社会のあり方を考える
増 田 考 志	文学の場所／非場所 ——入沢康夫『わが出雲・わが鎮魂』をめぐって——
松 田 陽 子	地域との連携による学校教育の改善 ——市川市の教育改革に焦点をあてて——
松 本 慎 平	大学生の学習意欲に関する一考察
村 上 真 理	思考の二重過程理論と意思決定の合理性に関する理論的考究
村 田 裕 子	世界と私をつなぐことば
八 木 綾 子	聴覚障害者と健聴者のコミュニケーション方略
柳 竜 介	「学部から大学院へ進学する動機規定要因」
山 下 里 絵	失恋における部分喪失の心理
沖 部 陽 子	芸術における「現実」の弁証法 ——Adolf Wolfliの作品と生涯を手がかりに——
川 邊 陽 子	青年期女性における自傷と女性性
島 津 敦 好	職業決定過程における学生の職業意識の形成 ——就職活動の進路決定プロセスの再構成を通して——
春 木 奈美子	到達せぬ苦悩 ——ロル・V・シュタインの余白に——
石 原 卓	戦後の児童館実践の歴史的変容と課題について ——福祉観・児童観の観点から——
松 岡 梨 沙	「学び支援プロジェクト」における学生の学びの深化プロセスの検討 ——クリティカルシンキングの視点から——
竹 内 理 恵	田村一二の障害児教育の思想と実践に関する一考察 ——京都市立滋野尋常小学校と石山学園の時代に焦点を当てて——

- 渡 邊 大 介 構築主義理論によるコンピュータ教育の理論と実践
——シーモア・パパートの実践を中心に——
- 石 橋 遼 身体図形のメンタル・ローテーションにおける自己の身体状態の影響
- 大 石 真 吾 箱庭制作における砂の作用に関する一研究
- 大久保 泉 同一性拡散における境界設定の特徴 ——「家屋画」・「室内画」を用いて——
死別した親との〈かかわり〉
——九分割統合絵画法にあらわされたイメージを通して——
- 北 江 暁 子 青年期以降の母娘相互関係について ——SCTと描画を用いた研究——
- 笹 倉 尚 子 中年期の危機とジェネラティビティとの関連性について
——質問紙とインタビュー・描画を通じて——
- 笹 田 奈緒美 移行対象の観点から見た小学校教諭の携行品に関する研究
- 田 村 綾 菜 友人を対象とする怒りの表出の制御とその動機
——児童期における発達の变化——
- 常 深 浩 平 物語文章読解時の心的表象構築過程における記憶の役割
- 東 畑 開 人 美的感情の構造について ——ロールシャッハカードを用いて——
- 中 屋 大 TAT反応過程における「取り組む」体験と「入り込む」体験
——自我機能および図版特性との関連から——
- 長谷川 康 孝 円型箱庭の臨床的意味について ——四角箱庭との選択・比較から——
- 永 井 久 世 自閉症児における自己・他者への攻撃的行動とその変化
- 藤 本 陽 子 青年期の同性関係と異性関係に関する研究
- 古 川 裕 之 学生競技者の引退に伴う心理的変容についての考察——描画を中心として——
- 本 多 早由里 大学生の「居場所」感覚に関する一研究
——質問紙・インタビュー・箱庭を用いて——
- 松 本 拓 磨 TATでみる抑うつ者の論理
- 宮 嶋 由 布 箱庭制作における枠の形の影響について ——長方形枠と円形枠の比較より——
- 森 田 健 一 自伝的記憶における「視点」の意味に関する研究
——幼児期記憶とそこから連想された記憶を用いて——
- 山 田 華 絵 九分割統合絵画法にみる青年期の自己概念
- 上 野 泰 治 〈見る・見られる〉鏡像遊びの心理的意義考察
——自画像研究に見られる「自己イメージ」と他者——
- 河 野 奈 央 高齢者の死に対する態度について
——転機に関する「自己語り」との関連から——
- 田 本 貢 非構成的グループにおける沈黙を巡って
- 宮 木 崇 TAT物語の産出過程に関する研究 ——手り手の視点と体験的側面に注目して——
- 山 村 総一郎 風景構成法における空間表現の検討 ——特にTATとの比較を通して——

川口明彦	アイデンティティについて ——エリクソンによるW. ジェームズの手紙の引用を手がかりとして——
西武雄	CMサウンドロゴの反復呈示が好感度と記憶に及ぼす効果
石橋慶	学校改善における学校経営コンサルタント導入の意義 ——三重県学校経営アドバイザー事業を事例として——
北村和也	義務教育費国庫負担制度維持論の検証
木下順司	生涯学習社会に対応した義務教育段階の「就学」のあり方
櫻井宏美	中学校英語教育に見る、英語イメージのつくられ方
杉野築	公立図書館の資料提供と学習権とのかかわり：「人権またはプライバシーを侵害する」資料の提供をめぐる
竹内みちる	奨学金の有効性と応用的示唆 ——解放奨学金を通して——
西本絵理	女子高生の語られ方についての社会的分析
野口剛	『細雪』の時代と階層意識 ——ピエール・ブルデューの理論を用いて
姫野雅隆	京都市における国際交流事業施策とニューカマーの日本社会への適応 ——国際交流会館の活動を通して——
嶺本和沙	児童と教師の関係における、隠れた問題点とその改善策
伊藤大介	青年における思想と社会の変容に関する考察
石川貴康	科学をめぐる論争における真理への意志 ——「サイエンス・ウォーズ」の言説分析——
杉森俊威	協働における商店街の可能性 ——高槻市わくわくストリート21を事例として——
谷田希	わが国におけるHIV/AIDSに対する方策の現状
田端亜衣子	韓国における中等教育政策の変遷と5.31教育改革
松永和喜	教育政策における政治家と理念 ——教科書無償制度を焦点として——
森井康司	日本における介護の現状と、その進むべき方向性を考える
石引聖士	大学における広報活動について
上西輔	女性と学歴
三島康弘	フリーターという生き方の社会的構築

(合計76名)

執筆者紹介（執筆順）

- 子安 増生 本研究科教授（教育認知心理学講座）
森本 裕子 修士課程1回生（教育認知心理学講座）
林 創 日本学術振興会特別研究員（教育認知心理学講座）
杉本 均 本研究科助教授（比較教育政策学講座）
やまだ ようこ 本研究科教授（教育方法学講座）
安藤 花恵 博士後期課程2回生（教育認知心理学講座）
鈴木 亜由美 博士後期課程3回生（教育認知心理学講座）
平岡 斉士 博士後期課程2回生（教育認知心理学講座）
古田 薫 博士後期課程1回生（比較教育政策学講座）
石川 裕之 博士後期課程1回生（比較教育政策学講座）
楠山 研 博士後期課程3回生（比較教育政策学講座）
村林 真夢 博士後期課程2回生（心理臨床学講座）
海本 理恵子 博士後期課程3回生（心理臨床学講座）
川部 哲也 博士後期課程3回生（心理臨床学講座）
藤本 麻起子 博士後期課程3回生（心理臨床学・臨床心理実践学講座）
古野 裕子 博士後期課程2回生（心理臨床学講座）
高橋 悟 博士後期課程3回生（臨床心理実践学講座）
稲井 文 博士後期課程2回生（臨床実践学講座）
須藤 春佳 博士後期課程2回生（臨床心理実践学講座）
川島 大輔 博士後期課程1回生（教育方法学講座）
遠藤 貴広 博士後期課程1回生（教育方法学講座）
窪田 知子 博士後期課程1回生（教育方法学講座）
柴本 枝美 博士後期課程1回生（教育方法学講座）
石井 英真 博士後期課程3回生（教育方法学講座）
伊藤 実歩子 博士後期課程3回生（教育方法学講座）
樋口 太郎 博士後期課程3回生（教育方法学講座）
渡辺 貴裕 博士後期課程3回生（教育方法学講座）
篠原 郁子 博士後期課程1回生（教育方法学講座）
山本（西隅）良子 博士後期課程1回生（教育方法学講座）

京都大学大学院教育学研究科紀要投稿規定

(1) 投稿資格

単著論文の場合、執筆者は、本研究科教員及び博士後期課程1年次以上の大学院生とし、院生については少なくとも指導教員1名の推薦のある者に限る。

共著論文の場合、本研究科教員が第1著者となり、学内外の研究者（修士課程1年次以上の大学院生を含む）を共著者とする者に限る。

(2) 内容

原稿の内容は未発表の学術論文とする。

(3) 使用言語

原則として自由。ただし、外国人留学生は日本語で投稿すること。

(4) 原稿枚数

単著論文は、本研究科教員の場合、400字詰原稿用紙で100枚、院生の場合、50枚を上限とする。

共著論文では、全体で100枚を上限とする。外国語論文の枚数もこれに準ずる。

ワープロによる場合は、A4判用紙で1枚当り「43字×38行」とし、教員は25枚、院生は13枚とする。

(5) 投稿要領

投稿に際しては、執筆注意事項指定の書式に従い、原稿の他にコピーを2部添え、締切日までに指定された提出先に提出のこと。なおワープロによる場合は、フロッピーディスクを添付のこと。

また、英文タイトルおよび200語程度の英文アブストラクトを付けること。

(6) 投稿・問い合わせ先

紀要編集委員会。

(7) 原稿の掲載の可否

原稿の掲載の可否については、別に定める審査基準に基づいて紀要編集委員会が審査・決定する。

編集委員 遠藤利彦 子安増生
佐藤卓己 中池竜一

平成17年3月25日 印刷
平成17年3月31日 発行

発行人 京都大学大学院教育学研究科
代表者 藤原勝紀

印刷所 株式会社 石田大成社
京都市中京区丸太町通小川西入

発行所 京都大学大学院教育学研究科
京都市左京区吉田本町

Kyoto University Research Studies in Education

No. 51

Contents

- Do expectations of reciprocity influence prosocial behaviors
in an iterated two-person Prisoner's Dilemma without a conflict of interests?
.....KOYASU Masuo, MORIMOTO Yuko, & HAYASHI Haijimu
- Trends of Education for Gifted and Talented in England and Wales:
A Case Study of Reading SchoolSUGIMOTO Hitoshi
- Life stories and narrative structures in the movie "Wild Strawberry"YAMADA Yoko
- Expertise of actors and effects of assuming three viewpoints
in planning actions.....ANDO Hanae
- An experimental study of self-assertive behaviors of young children:
Comparison between two situations using experimental observation and imaginary stories...SUZUKI Ayumi
- Survey of the traits of familiar and unfamiliar faces
and the research method.....HIRAOKA Naoshi
- Family and School Partnership
— Contemporary Significance and Challenge of Parental Involvement —FURUTA Kaori
- A study on the vision and the structure of the educational system for
the gifted and talented in South KoreaISHIKAWA Hiroyuki
- The new direction in the national college entrance examination in China: A study on the authorities
transferring from central government to local governments and schoolsKUSUYAMA Ken
- Nature as a subject and predicate in imageryMURABAYASHI Mayu
- Plots in TAT: From the standpoint of "narrative"UMIMOTO Rieko
- Re-consideration on déjà vu experiences in the psychoanalysis.KAWABE Tetsuya
- The Inner World of Clients with Eating Disorder
— From the View Point of "Protection" in the TAT card 19 —FUJIMOTO Makiko
- The meanings and problems of spatial composition
in interpretation of drawingsFURUNO Yuko
- Self-experience in TAT and "self-consciousness".....TAKAHASHI Satoru
- A Study about psychological function of back-channelsINAI Aya
- On the relation between identity and close relationship
of the same age and sex in adolescenceSUDO Haruka
- The meaning of death of the elderly:
Perspectives and future approachesKAWASHIMA Daisuke
- The Linkage between Authentic Assessment and Backward Design in Grant Wiggins'
Theory of Curriculum: Focusing on the Concept of StandardsENDO Takahiro
- A Study on the Whole School Approach in EnglandKUBOTA Tomoko
- The Aim of Human Sexuality Education Theories during the 1920s in Japan:
on the Argument of Senji Yamamoto.....SHIBAMOTO Emi
- Development of the Theory of Educational Objectives in Research on Teaching Thinking:
Focusing on an Examination of "Dimensions of Learning" by R. J. MarzanoISHII Terumasa
- The historical changing of the unit "Plan and Map" in the Austrian curriculum of the Subject 'Heimatkunde'
and 'Sachunterricht': The tradition from the Schoolreform between two World Wars in Austria...ITO Mihoko
- A Study on the Theory of Academic Achievement of National
Language by Kaito MatsuzoHIGUCHI Taro
- The Beginning of the "Vacation Colony":
From Hygienic Significance to Educational SignificanceWATANABE Takahiro
- Rethinking the Role of Maternal Sensitivity and Mind-Mindedness
in the Development of Child's Mind-UnderstandingSHINOHARA Ikuko
- The empirical examination into the basic mechanism of experiencing "triangle emotions":
Especially focusing on the situational determinants of empathic joy and envyYAMAMOTO (NISHIZUMI) Ryoko